

本谷 有希子

1979年 石川県白山市に生まれる。石川県立金沢錦丘高等学校時代に演劇部に所属。上京後、ENBUゼミナール演劇科に入学、松尾スズキのクラスに在籍する。在学中より主に舞台において女優活動を開始。

1998年 アニメ『彼氏彼女の事情』で声優デビュー。ENBUゼミを見学に来ていた監督の庵野秀明が、庵野を見て騒ぐ生徒たちの中で一人無然とした態度を取っていた本谷を気に入ったためのオファー。

2000年 「劇団、本谷有希子」を創立。劇作家・演出家としての活動。

2002年 『腑抜けども、悲しみの愛を見せろ』が第18回三島由紀夫賞候補。

2006年 小説『生きてるだけで、愛。』で第135回芥川龍之介賞候補となる。

2007年 『遭難、』で第10回鶴屋南北戯曲賞を史上最年少で受賞。

2008年、小説『遭難、』で第21回三島由紀夫賞候補となる。

2009年 「幸せ最高ありがとうマジで!」で第53回岸田國土戯曲賞受賞。「あの子の考えることは変」で第141回芥川賞候補となる

2011年 小説『ぬるい毒』で第24回三島由紀夫賞候補第145回芥川賞候補、第33回野間文芸新人賞受賞。

2013年 『嵐のピクニック』で第7回大江健三郎賞受賞。5月7日、シンガーソングライターで映画監督の御徒町凧と入籍。

2014年 小説『自分を好きになる方法』で第27回三島由紀夫賞受賞。

2016年 『異類婚姻譚』で第154回芥川龍之介賞受賞。

中高生時代には所謂おたく趣味に傾倒していた。これまでで好きな漫画には『お父さんは心配症』、『幽☆遊☆白書』、『HUNTER×HUNTER』、『銭ゲバ』、『アシュラ』を挙げている[6]。その中で、『幽☆遊☆白書』の登場人物・蔵馬のファンで、作品中の蔵馬登場シーンの切り抜きなどを収集し、蔵馬の小説も書いていたほどだった。

『江利子と絶対 本谷有希子文学大全集』（2003年、講談社）

『腑抜けども、悲しみの愛を見せろ』（2005年、講談社）

『ぜつぼう』（2006年、講談社）

『生きてるだけで、愛。』（2006年、新潮社）

『乱暴と待機』（2008年、メディアファクトリー）

『ほんたにちゃん』（2008年、太田出版）

『グ、ア、ム』（2008年、新潮社）（2011年、新潮文庫）

『あの子の考えることは変』（2009年、講談社）

『ぬるい毒』（2011年、新潮社）

『嵐のピクニック』（2012年、講談社）（2015年、講談社文庫）

異類婚姻譚（いるいこんいんたん）

子供もなく職にも就かず、安楽な結婚生活を送る専業主婦の私は、ある日、自分の顔が夫の顔とそっくりになっていることに気付く。「俺は家では何も考えたくない男だ。」と宣言する夫は大量の揚げものづくりに熱中し、いつの間にか夫婦の輪郭が混じりあって…。「夫婦」という形式への違和を軽妙洒脱に描いた作品。

サンちゃん	……………	主人公・専業主婦
旦那	……………	持ち家を持っているバツイチ
ゾロミ	……………	サンちゃんの飼い猫
キタエ	……………	同じマンションの住人
アライ	……………	キタエの旦那・サンフランシスコに住んでいて帰った
サンショ	……………	山に捨てられた猫
センタ	……………	サンちゃんの弟
ハコネ	……………	センタの彼女

山芍薬（ヤマシャクヤク）

朝鮮半島と日本の北海道・本州・四国・九州の落葉広葉樹林下などの山地帯に生える。石灰岩の地を好む傾向がある。環境省のレッドリストの準絶滅危惧に指定。

異類婚姻譚とは

異類婚姻譚とは、人間と違った種類の存在と人間とが結婚する説話の総称。世界的に分布し、日本においても多く見られる説話類型である。なお、神婚と異類（神以外）婚姻とに分離できるとする見方や、逆に異常誕生譚をも広く同類型としてとらえる考え方もある。ギリシア神話ではキューピッドとプシケーの物語やゼウスが乙女の元に白鳥や水滴と化して訪れる話、グリム童話では『かえるの王さま』、日本でいうと鶴女房などが挙げられる。これらは古代の族外婚による信仰、生活様式の違いに起源を求める説がある。子孫が残る伝承のものには、子孫にとって都合の良いもの（統治の根拠とする始祖伝説等）が多い。例_天人女房系 羽衣伝説や清王朝始祖、女真族のプフリヨンスの伝説等。日本神話におけるホオリとトヨタマヒメの結婚もまた異類婚姻譚であり、2人の子孫が初代天皇。